

会 議 要 旨

会 議 名	令和6年度 第1回館山市社会教育委員会議
開 催 日	令和6年7月10日(水) 午前10時00分から
開催場所	菜の花ホール1階 第1・2集会室
出 席 者	社会教育委員9名、教育長、教育部長、事務局6名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0 名
【会議概要・結果等】	
1. 開会	
2. 教育長挨拶	
本日はご多用の中、お集まりいただき感謝申し上げます。また日頃より館山市の社会教育に多大なるご尽力をいただき感謝申し上げます。また、今回、新たに委員をお引き受けいただいた方には、今後の協力をお願い申し上げます。 コロナ禍で様々な行事が足止めされたが、昨年度あたりから色々なものが再開してきた。最近のものだけでも、バレーボールの市長杯やボッチャの大会、週末にも家庭教育学級や台湾と日本の小中学生の音楽交流会、茶室での南総里見八犬伝の講談の会、安房学講座の開講式や講演会があり、いずれも多くの方が来ていた。コロナの時代のオンラインも良かったが、やはり対面で行うことの大切さを実感した。また、配布したチラシには、恒例となっている夏休み宿題大作戦も行われる。子どもからお年寄りまで、皆が学び合い、高め合い、ふれあい、より良いまちを作っていくための社会教育が、皆様の協力により一層進められていくことを期待する。	
3. 委嘱状交付	
出席の社会教育委員9名に委嘱状交付	
4. 委員・事務局紹介：自己紹介で実施	
5. 議長・副議長選出	
6. 議長挨拶	
7. 議事	
(1) 令和6年度生涯学習に係る基本方針と重点施策について	
生涯学習課、博物館、図書館、中央公民館、スポーツ課より令和6年度基本方針等を説明。	
その後、質疑、意見交換。	
(2) 学習等供用施設・地区公民館再編方針の策定について	
中央公民館より概要を説明。その後、質疑、意見交換。	
(3) その他	
8. その他	
9. 閉会	
【質疑応答・意見等】	
(委員) 指導者の確保が難しいと聞くが、放課後子供教室の指導者の状況はどうか。学校によって差はあるか。 (委員) 合計で約100名の地域住民のボランティアスタッフがいる。教室によって人数に違いがある。	

高齢者が大半なので、辞める際も代わりが見つからないのが現状である。

（委員）指導者がいなくて困っているというところはないか。

（委員）そのようなところもある。

（委員）学童クラブと放課後子供教室が事業仕分けにかけられるのは、後継者不足と関係があるのか。

（生涯学習課回答）どちらも目的が、子どもの居場所作りという点は共通している。制度的には学童クラブは厚生労働省（現在こども家庭庁）、放課後子供教室は文部科学省と所管官庁が異なる中で、本来の目的が似通っているものを一本化し、運営の効率化を図れないかという目的での事業仕分けである。学童クラブの利用については様々な条件があるが、放課後子供教室の利用については制限がない。どこかで折り合いをつけられないか探るため、生涯学習課とこども課で事業仕分けに向けて検討している。

（委員）公民館再編の会議の中で、公民館を若い人にも親しみがあるところにしなければならないという意見が出た。配布された「小学生夏休み大作戦」のチラシの内容等を、各学校で先生方から紹介してもらえると、講座に子どもたちが来やすくなると思う。

（委員）講座等で子どもたちが参加したいが、定員が少なく、申し込んでも参加できないことがある。講師の都合もあると思うが、複数回開催など、子どもたちにチャンスを与えられる状況ができれば良いと思う。

（委員）人気の講座は、最初は午前のみだったところを、午前・午後と2回開催したこともある。

（中央公民館回答）講師の都合がつけば、柔軟に対応していきたい。子どもたちの希望に沿うようにしたい。

（委員）指導者の不足という話があったが、できる人を探すだけでは限界がある。指導者育成の視点が必要である。単に参加するのではなく、興味を持った参加者が、教える立場になれるような事業を長期的に考えていく必要がある。

（中央公民館回答）公民館では、生涯学習を始めるきっかけ作りの場としている。さらに発展する場合は、別の接続先を考えなければいけないので、検討したい。

（生涯学習課回答）房州うちわについては、房州うちわ協議会が毎年秋頃に養成講座を開いている。講座を受けた方に、子ども向けの講師や学校等の団体の体験会の手伝いをしてもらおう。今回の房州うちわ講座の講師も、養成講座を受けた方で協力を頂いている。続けていくという部分も考えなければならぬ。

（議長）以前、講座に参加した際に、学校の先生で来ている方もいた。学校でもできる講座内容もあるため、学校を通じて先生にも宣伝できれば良いと思う。

（委員）講座の準備が大変そうなのを見て、手伝いたいと思った。言ってもらえれば好きな方が手伝うと思う。1人でも2人でも手伝う人が増えればいい。

（委員）次の展開を考えるのに、また職員だけで準備をするのは大変。参加者が次に何をしたいか、コミュニティを作って企画・準備をできるのが良い。

（中央公民館回答）1回限りの講座だと難しいが、複数回の講座だと、その中で仲間ができ、深く学ぶことができる可能性がある。公民館講座でも考えたいと思う。

（委員）人に企画させるのは、自分で企画するよりも難しいが、今後繋がりが広がる流れができれば良いと思う。

（委員）50m プールが今年から市の直営になり、弓道場が継続して指定管理となっているが、指定管理との関係はどうなっているか。市の直営になるということは、指定管理に何か問題があったということか。

（スポーツ課回答）50m プールに関しては夏場だけなので、指定管理には適さないため、直営となった。

（委員）そもそもなぜ指定管理となったのか。

（スポーツ課回答）25m 温水プールと 50m プール併せての指定管理だったからである。

（委員）弓道場の指定管理料が 0 円となっているが、ボランティアということか。

（スポーツ課回答）自分たちが使用することもあり、弓道会との協議の中で 0 円となった。

（委員）借用の際、スポーツ課管理のスポーツ用具はホームページ等で見ることできるか。

（スポーツ課）ホームページには掲載していない。スポーツ課に問い合わせてもらいたい。

以 上